《最優秀賞》

# 限りある地球上の水

大阪府　大阪府立水都国際中学校　1年　田中（たなか）　琴子（ことこ）

私は、祖父母が海辺に住んでいる影響もあり、水と関わる機会が多かったです。そのため、幼いころから海や川が大好きでした。だから、よく祖父母の家に行き、海辺に遊びに行きました。その海の水は、透き通ったきれいな水でした。私は、そのようなきれいな水が身近にあるのは当たり前のことなのだと思っていました。

その祖父母の家で初めて海辺で遊んだのは一歳のころでした。そのころは魚も多くいてとてもきれいな海で、そんな海が大好きでした。しかし、三年ほど前にコロナウイルスの影響で自粛をして、祖父母の元にも一年近く行けませんでした。そして、久々に祖父母の元へ行き、海辺に行ってみました。そこは、一年前よりもとても汚くなっており、驚きました。そして、十年ほど前の海辺の写真と比較してみると、とても汚くなっていることに気が付きました。ほかのところも同じように汚くされているのかと思うと、私はとてもショックでした。

そのことから私は、自主的に清掃活動を行うことにしました。海辺に落ちているごみ、川にあるごみなどを拾い、捨てました。この活動を毎週一回は自主的に行い、地域で行われているごみ拾いなどのボランティア活動にも積極的に参加しました。その結果、少しずつ元の姿に戻ってきて、とてもうれしかったです。近所の方々からも「ありがとう」と声をかけてもらえ、とてもうれしかったです。

また、わたしがごみ拾いをしていると、一人では大変だからと言い、一緒にごみ拾いをしてくれる方もいました。このように、少しずつこのような活動を広めていくと、もっと世界がきれいになると思います。そうすることによって、環境が良くなり、人が住みやすくなるだけでなく、海にいる魚も快適に過ごすことができると思います。だから、これからもこの活動を続けつつ、他の人に発信していきたいと思います。

また、節水活動を行うことも環境を守るための一つだと思います。地球上の限りある資源をできるだけ長く使うために私は無駄な水の使用を無くせばいいと思います。

海辺の近くに住んでいる祖父母は、家の隣にある畑で野菜や花などを育てています。祖母は水をあげるとき、雨水を大きなバケツにため、植物にあげていました。そうすることで、節水できるからだそうです。祖母は雨水を活用する事で、水道水の使用量を減らすことができて、環境がより良くなると言っていました。これらの活動だけでなく、家庭でも行える活動をするとより良い環境になると思います。例えば必要のないときは蛇口を閉めたり、お風呂の水などを活用し、水道水の使用量をできるだけ減らしたりすると、節水につながると思います。わざわざきれいな水を使う必要のないものはなるべく既に使った水を使い、節水につなげるといいと思います。

このような活動を多くの家庭で行うことで、これからもずっときれいな海を守れると思います。

また、これからはこのような活動を自分の中で続けるだけでなく、周りにもどんどん広めてみんなで継続し、世界中がきれいになるように発信していきたいです。そのために、町の中で活動するだけでなく、インターネットなども活用し、世に広めていきたいと思います。そうして、地球上の限りある水を守っていきたいと思います。